

# ドライカーボンサクシオンキット 取扱説明書



取付けは必ず専門業者に依頼してください。本書はご使用前に必ずお読みください。  
本製品は、下記に示す車輛のみ取付可能です。

商品名	ドライカーボンサクシオンキット
用途	自動車部品
コードNo.	70026-AF001
メーカー・車種	スバル ① インプレッサ WRX STI 5ドア CBA-GRB ② インプレッサ WRX STI 4ドア CBA-GVB ③ WRX STI CBA-VAB
エンジン型式	①, ② EJ207 , ③ EJ20Y
年式	① 2009年2月～2014年7月 , ② 2010年7月～2014年7月 ③ 2014年8月～
備考	○ 2.0Lターボ車用

○適合車輛の年式は2016年8月現在までのものです。

2016年8月以降に登録された車輛への適合については、お買上の販売店までお問い合わせください。

取説品番 E04521-F43221-00 2016/8/25 作成 Ver.3-1.02 (禁無断複写、転載) (株)エッチ・ケー・エス

## はじめに

この度はHKSドライカーボンサクシオンキットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

**本書は取付けを行う前に必ずお読みください。**

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社では一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を使用して生じた損害や、脱着工賃およびそれに付随する費用、また、自動車を使用することができないことによる損失等につきましては、一切の補償はいたしかねます。
- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されております。ノーマル車輛以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。  
This product is designed for use in Japan only. It must not be used in any other country.
- 本製品の仕様は付属品を含め、改良のため予告なく変更をすることがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品及び本書のご注文はお買上の販売店までお問い合わせください。部品を発注する際は、商品名・コードNo.・車輛型式・エンジン型式を注文先にお伝えください。

**安全上の注意** 本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

本書では下記のような記号を使用し、お客様及び作業者への危険レベルを示しています。



**警告**

作業者又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合



**注意**

作業者又は使用者が障害を負う危険が想定される場合（人損）

拡大物損の発生が想定される場合

（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害〔例えば、車輛破損及び焼損〕）



**警告**

●電気ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。

- ・バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。
- ・コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。



**注意**

●本製品の誤使用及び分解は絶対に行なわないでください。

- ・誤使用及び分解したことにより、最悪の場合エンジンが壊れる恐れがあります。
- ・本来の性能を損なう恐れがあります。

●作業を始める前にエンジンルーム内の温度が約40°C位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。

- ・火傷する恐れがあります。

●パイプ等に異物が入らないようにウエス等をかけておいてください。

- ・異物がエンジンに入りエンジンが破損する恐れがあります。

●キットの構成部品をパーツリストに記載してあります。取付け前に異品、欠品の無いことを確認してください。

●ノーマルパーツの取付け取外しはメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。整備書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。

●本製品の取扱いは慎重に行ってください。落としたり、強いショックを与えないでください。取付け不良や故障の原因になります。

●ボルト、ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行うと、ボルトのねじ部が破損します。

●取付け作業のため、一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際は、間違えて取付けないように取外す部品にはマーキングしてください。

## アドバイス

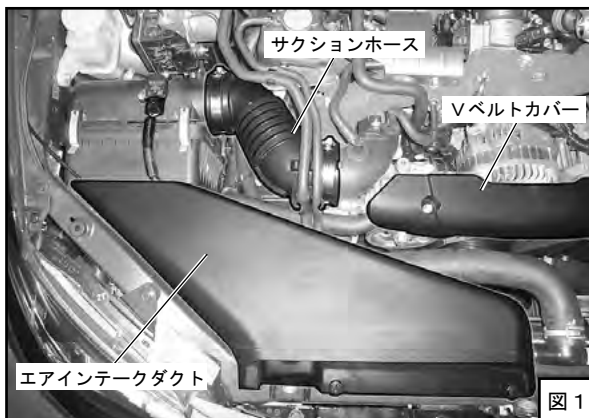
・本製品を装着することで過給圧があがる場合があります。過給圧の確認をしてください。

・EVC等で過給圧を上げてある車輛に取付ける場合は、エンジンコンピュータのリセットを推奨いたします。

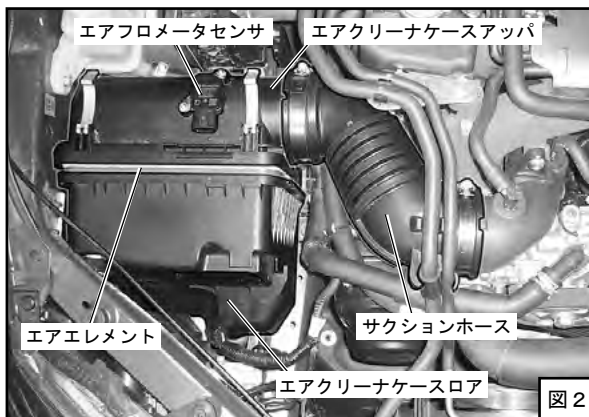
## 取付け方法

### 1. ノーマルパーツ取外し

- (1) バッテリーのマイナス端子（-）からケーブルターミナルを取外してください。
- (2) エアインテークダクトを取外してください。（図1）
- (3) Vベルトカバーを取外してください。（図1）



- (4) ホースバンドを緩め、サクシオンホースを取外してください。（図2）
- (5) エアフロメータコネクタを取外し、エアクリーナケースアッパをエアフロメータセンサと一体で取外してください。（図2）
- (6) エアエレメントを取外してください。（図2）
- (7) ボルト、ナットを外してエアクリーナケースロアを取外してください。（図2）



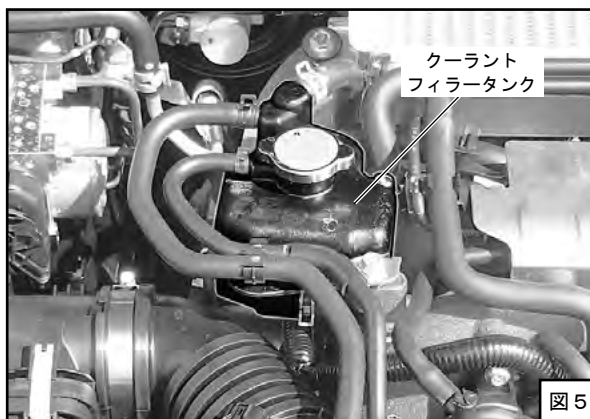
整備要領書（サービスマニュアル）及び取扱説明書に準じて純正インテークパイプを取外してください。参考までに簡略した純正インテークパイプの取外し方法を記入します。整備要領書に比べて作業工数は減りますが、エンジン内部やガスケット面に異物等が混入しエンジンを破損する恐れがあります。以下の方法で純正インテークパイプを取外す場合はエンジン内部やガスケット面に異物等が混入しないように作業してください。



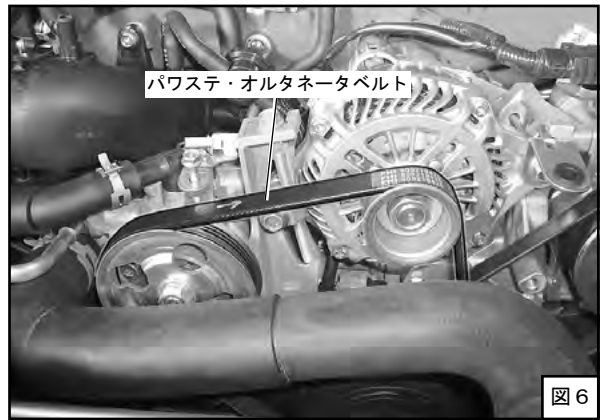
- (8) PCV パイプからホースを抜いてください。（図3）
- (9) インタークーラー下側のバキュームパイプからバキュームホースを抜いてください。（図3）
- (10) エアバイパスバルブからエアバイパスバルブ作動用ホースとエアバイパスホースを抜いてください。（図3）
- (11) ホースバンド、ボルトをゆるめ、インタークーラーを取外してください。（図3）
- (12) インタークーラーステーを取外してください。（図4）



- (13) クーラント温度が冷えたことを確認してからクーラントフィルタータンク内のクーラントを抜き取り、クーラントフィルタータンクを取外してください。取外した配管には蓋をして異物混入を防止してください。抜取ったクーラントは再使用します。（図5）



- (14) パワステ・オルタネータベルトを取外してください。  
(図 6)



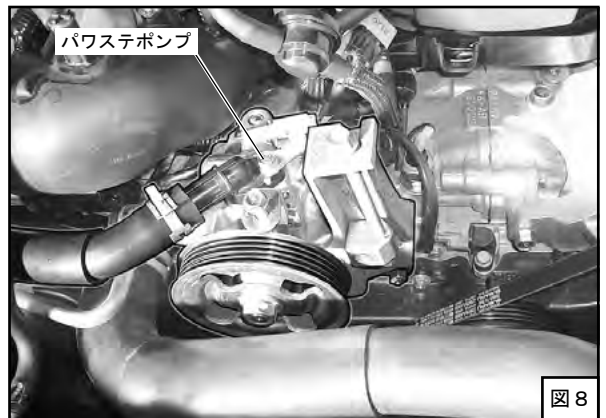
- (15) オルタネータのコネクタ、端子を取外してください。  
(16) ボルトを外し、オルタネータを取外してください。  
(図 7)



- (17) パワステポンプのコネクタを取外してください。  
(18) ブラケットのボルト 3 本を外して、パワステポンプをブラケットごと取外してください。(図 8)  
パワステポンプの配管は取外す必要はありません。配管に無理のかからない位置に一時的に移動してください。  
(図 9)

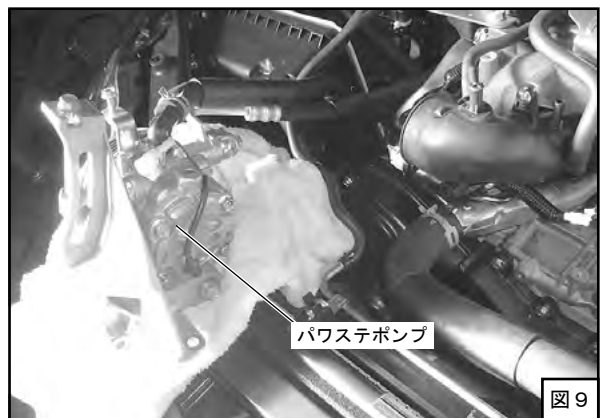
### アドバイス

ブラケットのボルトは 3 本とも長さが異なります。パワステポンプ取付けに再度使用しますので、その際に間違えないようにマーキング等してください。  
また、ボルトが外しづらい時は、先に (19) の作業を行ってください。



### アドバイス

パワステポンプ移動の際はボディ等に傷が付かないようにウエス等で保護してください。



- (19) コネクタ、配管を外し、パージバルブとソレノイドバルブを取外してください。(図10)(取付けの際にホースの接続先を間違えないようにマーキングしてください。)

ホース類を外す際は、まちがえて水配管、燃料配管を外してしまわないよう確認しながら作業してください

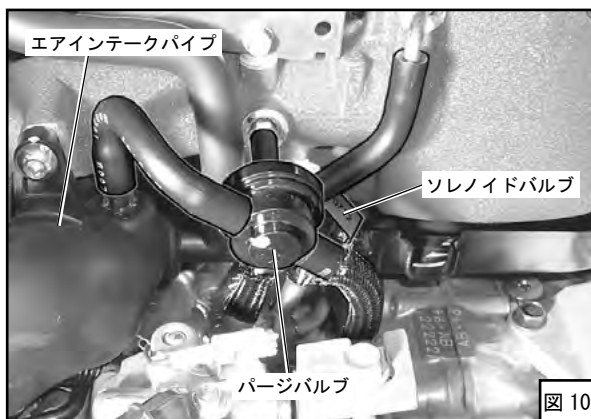


図 10

- (20) エアインテークパイプから各ホースを抜いてください。(図11、図12)

- (21) エアインテークパイプ固定ボルトを取外してください。(図11)

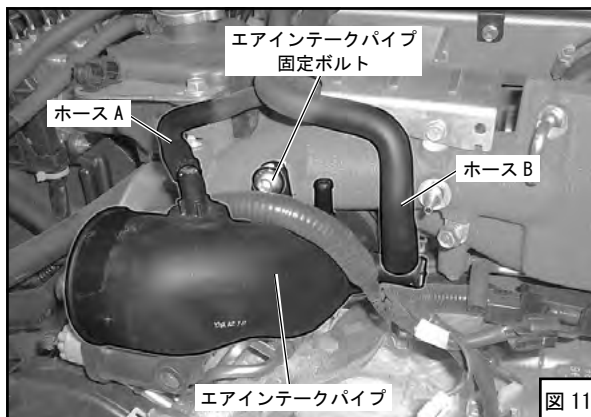


図 11

- (22) エアインテークパイプのターボ入口側のホースバンドをゆるめ、エアインテークパイプをフリーな状態にしてください。

- (23) ブローバイホースをエンジン側から抜いてください。(図12)

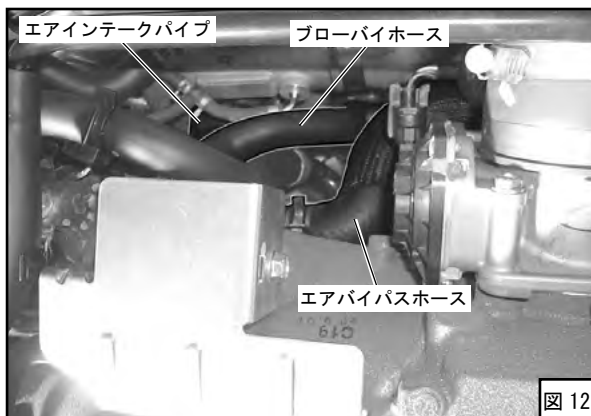


図 12

- (24) フューエルパイププロテクター RH 固定ボルトの後ろ 2 本を取外してください。前の 1 本は緩めるのみです。その後フューエルパイププロテクター RH をタイヤハウス側に倒してください。(図13)

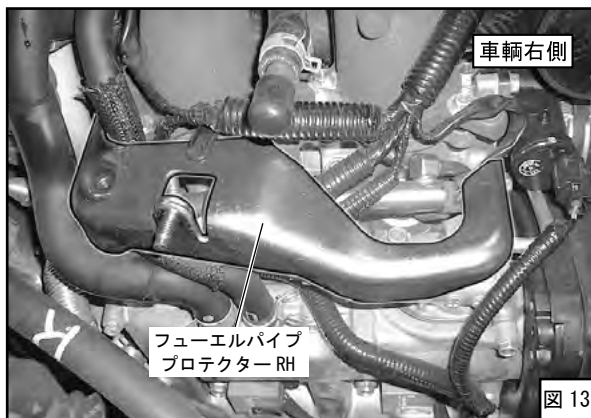
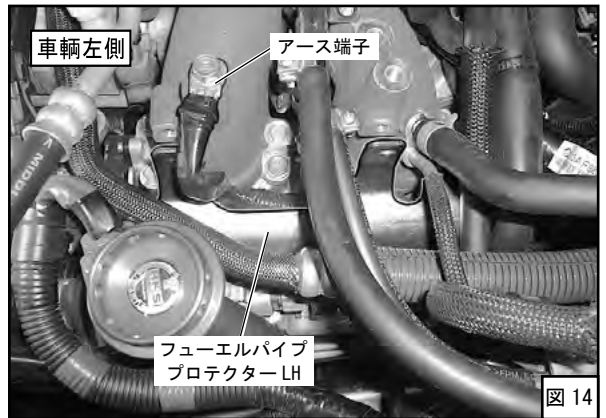


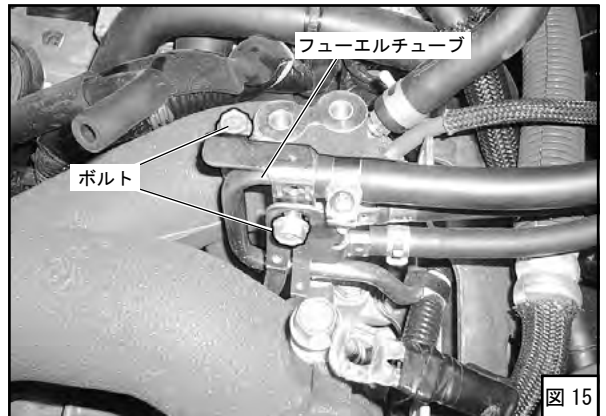
図 13

- (25) フューエルパイププロテクターLH固定ボルトを取外してください。(図14)  
固定ボルトは3本あります。3本とも完全にボルトを取外してください。  
フューエルパイププロテクターLHはエンジンから取外しません。自由に動く状態にしておいてください。

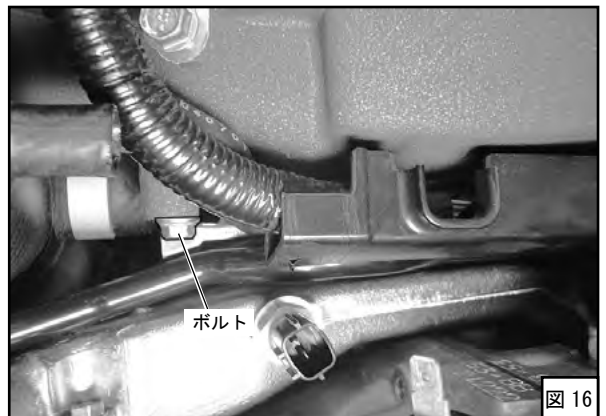
- (26) アース端子を取外してください。(図14)



- (27) インテークマニホールドとフューエルチューブを固定しているボルト2本を取外してください。(図15)



- (28) インテークマニホールド下面のフューエルデリバリーパイプ固定ボルトを取外してください。  
ボルトは左右で2本あります。(図16)



- (29) インテークマニホールド下面のハーネス固定ボルトを取外してください。(図17)

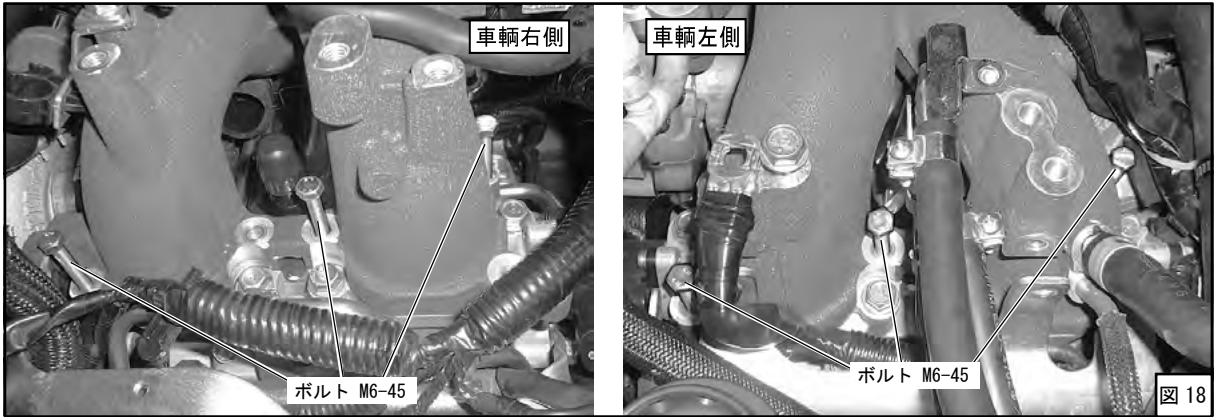


(30) インテークマニホールド取付けボルト 12 本を取外してください。その際、インテークマニホールドを動かさないようにしてください。(図 18)

キット同梱のボルト M6-45 を先ほど取外した場所へ取付けてください。(左右バンク各 3 本) 完全な締付けは行わずネジ部分を 3mm 程度取付けてください。

### アドバイス

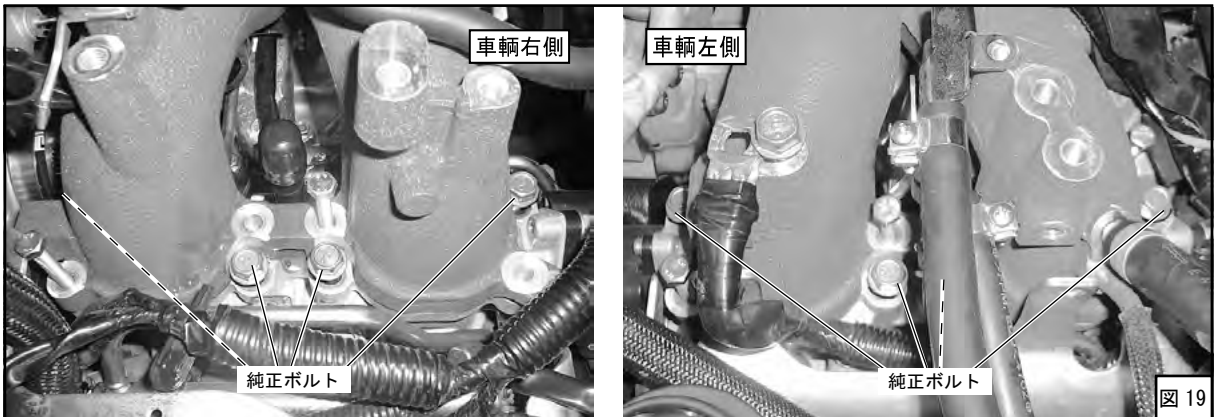
このボルトは以降の作業でガスケットが動くことによるガスケット破損やエンジン内部への異物混入等を防ぐためにガスケットの不要な動きを制限する目的で取付けます。ガスケット破損やエンジン内部に異物が混入しないように作業してください。カーボンサクシオンキットを取付けた後のインテークマニホールドの固定には純正ボルトを再使用します。



(31) タンブルジェネレーター取付けボルト 8 本を取外してください。(30)と同様にガスケットが動くのを制限する目的で、取外した純正ボルトを 2 回転締め込んでください。(図 19)

### アドバイス

ガスケット破損やエンジン内部に異物が混入しないように作業してください。



(32) インテークパイプに他部品が付いていないことを確認してインテークマニホールド、タンブルジェネレーターを持上げ、インテークパイプを取外してください。(図 20)

### アドバイス

インテークマニホールド、タンブルジェネレーターを持上げる作業は、不安定な作業となります。そのため、作業は二人以上で行うことを推奨します。ガスケット破損やエンジン内部に異物が混入しないように作業してください。

### アドバイス

HKS 強化アクチュエーター (14030-AF001) 取付け車はアクチュエーターを取外してください。





## 2. キットパーツ取付け

- (1) サクションパイプにジョイントホースφ 60 をホースバンド # 36 を使用して組付けてください。(図 2 1)

### アドバイス

ホースの口とパイプの口の距離が 25 ~ 30mm となるようにしてください。(車輛に仮付けして位置を決めてください)

- (2) 燃料配管やインテークマニホールド内側等、サクションパイプとの干渉が予想される箇所にクッションテープを貼付けてください。
- (3) サクションパイプを車輛に仮付けしてください。

- (4) サクションパイプにホースニップルφ 12、ホースニップルφ 8 を取付けてください。(図 2 2、図 2 5)  
取付ける際は、ネジ部に市販のシールテープ等を巻くなどしてエア漏れしないようにしてください。

### アドバイス

ホースニップルは手で締め込んだ後、適切な工具を用いてさらに 1 ~ 2 回転締め込んでください。

(座面が設置するまで締め込む必要はありません)

### アドバイス

別売の HKS EVC 等を使用して純正過給圧ソレノイドバルブとエアインテークパイプの配管(ホース A)が取外してある場合は、B 側のホースニップルφ 8 をキット同梱のプラグに変更して取付けてください。(図 2 2)

取付ける際は、ネジ部に市販のシールテープ等を巻くなどしてエア漏れしないようにしてください。

プラグは手で締め込んだ後、適切な工具を用いてさらに 1 ~ 2 回転締め込んでください。

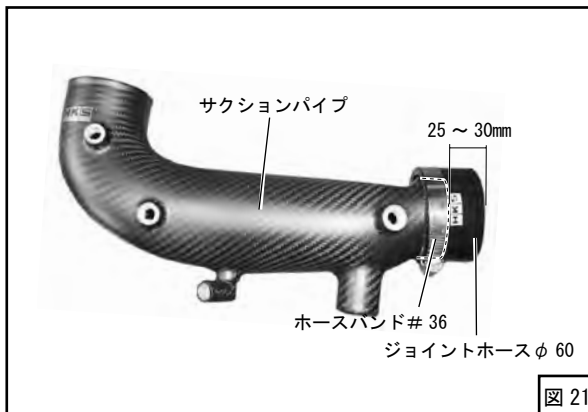


図 21

ホースニップル、プラグを取付ける際は、ネジ部に市販のシールテープ等を巻くなどしてエア漏れしないようにしてください。

ホースニップル、プラグは手で締め込んだ後、適切な工具を用いてさらに 1 ~ 2 回転締め込んでください。(座面が接地するまで締め込む必要はありません)

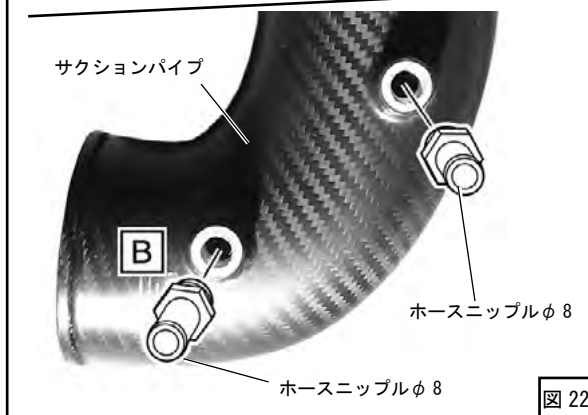
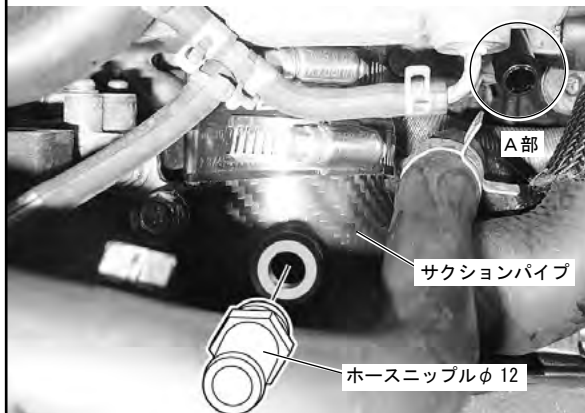
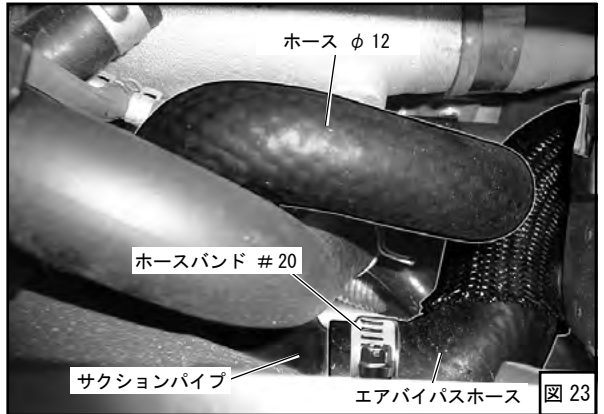


図 22

- (5) タンブルジェネレーターガスケットが正しく取付けられることを確認してください。純正ボルトを使用してタンブルジェネレーターを元のように取付けてください。締付けトルク 25 (N・m)
- (6) 1-(29) で取付けたボルト M6 L-45 を取外してください。インテークマニホールドガスケットが正しく取付けられることを確認してください。純正ボルトを使用してインテークマニホールドを元のように取付けてください。締付けトルク 8.3 (N・m)
- (7) インテークマニホールドから取外した純正パーツを元のように取付けてください。
- (8) フューエルパイププロテクター RH、LH を元のように取付けてください。(図 1 3、図 1 4)
- (9) ホースニップルφ 12 と A 部をホース φ 12 で接続してください。(図 2 2、図 2 3、図 2 5)
- (10) エアバイパスホースを接続してください。(図 2 3)



- (11) クーラントフィルタータンクを元のように取付け、抜取ったクーラントをクーラントフィルタータンク内へ戻してください。クーラントが不足した場合は 補充してください。
- (12) インタークーラーステーを元のように取付けてください。(図 4)
- (13) インタークーラーを元のように取付け、ホース類を接続してください。

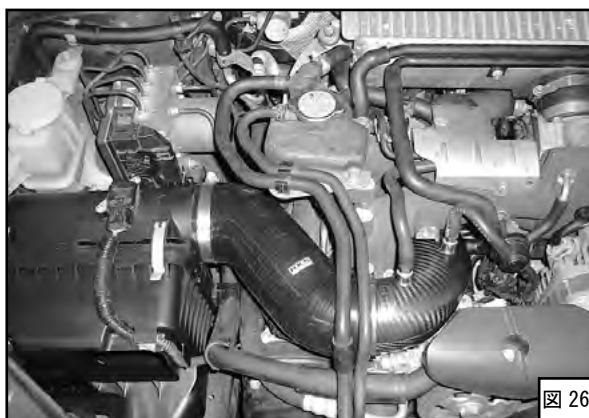
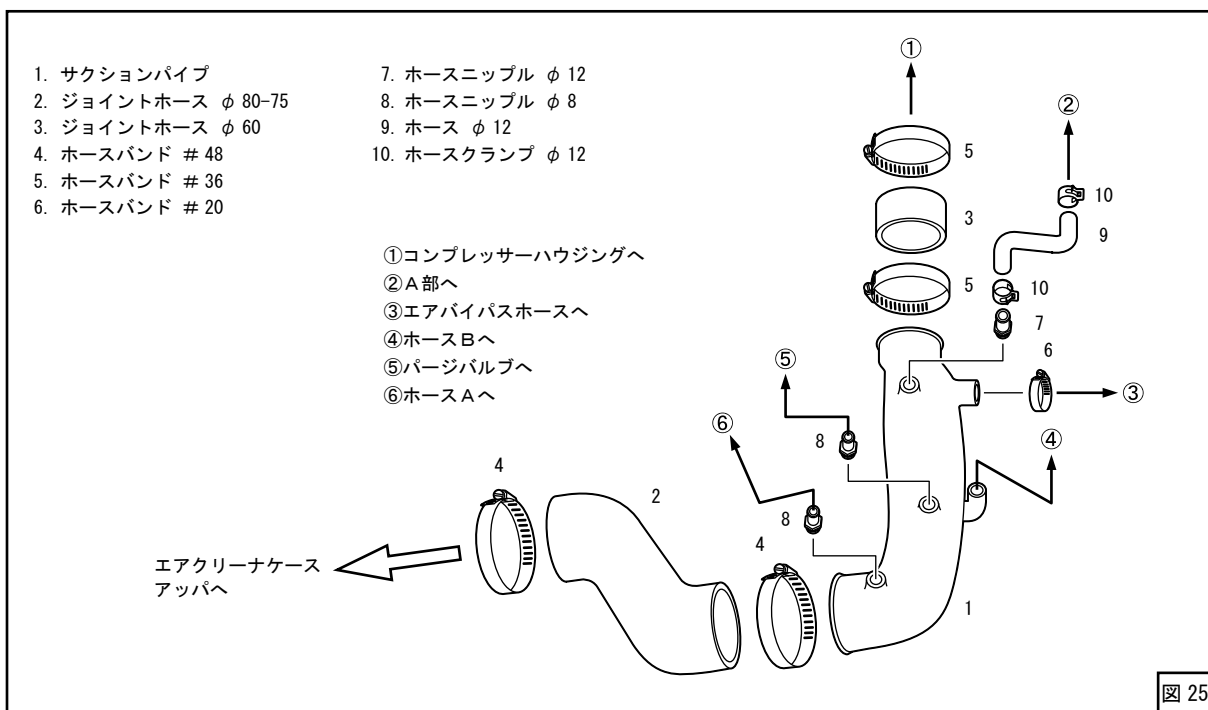
- (14) パワステポンプを元のように取付け、コネクタを接続してください。
- (15) サクシオンパイプと各部が干渉しないように位置決めを行い、ボルトとホースバンドを固定してください。干渉が予想される箇所はクッションテープを貼付けてください。
- (16) ソレノイドバルブ、パーズバルブを取付け、それぞれのホース、コネクタ類を接続してください。(図 1 0、図 2 4)



- (17) オルタネータを元のように取付け、コネクタ、端子を接続してください。
- (18) パワステ・オルタネータベルトを取付け、ベルトの張りを規定値に調整してください。
- (19) Vベルトカバーを元のように取付けてください。(図 1)

(20) キットパーツを組み付けてください。(図25、図26)

同時に、エアクリナーケースロア、エアエレメント、エアクリナーケースアッパを元のように車輛に取付けてください。



(21) エアフロメータセンサにコネクタを接続してください。

(22) エアインテークダクトを取付けてください。(図27)

(23) バッテリーのマイナス端子(−)にケーブルターミナルを取付けてください。



# ⚠️ 注意

キット取付け後は冷却水を補充し、エンジン始動の後エア抜き、水漏れの有無を確認してください。

## 取付け終了後の確認

### エンジン始動前の確認

確認項目	確認
パイプ・ホース等の配管が間違っていないか。	
バッテリーのマイナス端子にケーブルターミナルが確実に取付けられているか。	
ホースバンドが確実に締まっているか。	
ボルト・ナット類の締め忘れはないか。	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	

### エンジン始動後の確認

確認項目	確認
各部からエア漏れがないか。	
軽く2,3度空吹かしを行ないスムーズにエンジン回転が上がるか。	
部品による干渉音はないか。	
アイドル状態に異常はないか。	
エンジンを停止し、ボルトが緩んでいないか。 (再度取付部の締付け確認)	

## パーツリスト

No.	品名	数	形状	備考	No.	品名	数	形状	備考	No.	品名	数	形状	備考
1	サクシオンパイプ	1			6	ホースバンド	1		#20	11	プラグ	1		
2	ジョイントホース	1		φ 80 - φ 75	7	ホースニップル	1		φ 12	12	ボルト	6		M6-45
3	ジョイントホース	1		φ 60 L=40	8	ホースニップル	2		φ 8	13	タイラップ	5		
4	ホースバンド	2		#48	9	ホース	1		φ 12	14	クッションテープ	5		
5	ホースバンド	2		#36	10	ホースクランプ	2		φ 12	15	取扱説明書	1		

## 維持・管理

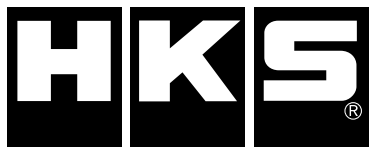
快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 安全な整備はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザーマニュアルに従って対処してください。
- 本製品を譲られる時は、必ず次のオーナーのために取扱説明書をお渡しください。
- 本製品をお車から取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

## アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者またはお買上の販売店までお問い合わせください。

本書の記載内容は、予告無しに変更することがありますのであらかじめご了承ください。



# DryCarbon Suction Kit

NAME OF PRODUCT	DryCarbon Suction Kit
PART NUMBER	7 0 0 2 6 - A F 0 0 1
APPLICATION	SUBARU ① IMPREZA STI GRB / GVB ② WRX STI VAB
ENGINE	① EJ207 , ② EJ20Y
YEAR	① 2009 ~ 2014 , ② 2015 ~

Published in August, 2016 by HKS Co., Ltd.  
(Unauthorized reproduction is strictly prohibited.)

## NOTICE

This manual assumes that you have and know how to use the tools and equipment necessary to safely perform service operations on your vehicle. This manual assumes that you are familiar with typical automotive systems and basic service and repair procedures. Do not attempt to carry out the operations shown in this manual unless these assumptions are correct. Always have access to a factory repair manual. To avoid injury, follow the safety precautions contained in the factory service manual.

- This manual indicates items you need to pay attention to in order to install this product safely and lists precautions to avoid any possible damage and/or accidents.
- HKS will not be responsible for any damage caused by incorrect installation and/or use of this product.
- HKS will not be responsible for any labor expenses, related fees or losses incurred during vehicle downtime.
- This product was designed based on installing it onto a factory vehicle. The performance and/or safety cannot be guaranteed if this product was installed onto other inapplicable vehicles.
- The specifications of this product are subject to be changed without notice.
- This manual is subject to be revised without notice.
- For any lost parts, consumables or manual, please contact an Authorized HKS Dealer.

## SAFETY PRECAUTIONS

### WARNING

- To prevent electrical damage/burns/fire, always:
  - Disconnect the negative terminal of the battery before beginning installation.
  - When disconnecting wires/connectors, take extra care to avoid breaking/snapping the connectors.

### CAUTION

- Do not misuse this product.
  - Misuse of this product may lead to engine damage.
  - Misuse of this product may lead to loss of its original function.
- Prior to installation, make sure the engine bay temperature has cooled to approximately 40°C /104°F.
  - Failure to let the engine cool down properly can lead to severe burns.
- Insert clean rags into open piping to prevent contaminants from entering the pipes.
  - If neglected, contaminants in the piping can lead to engine damage.

- Make sure that all of the parts listed in the Parts List are included in the kit.
- Reference the factory service manual for the vehicle when removing factory parts.
- Be careful when handling this product; avoid dropping or subjecting it to excessive impact. Failure to do so may result in product damage or improper installation.
- Use the proper tools when tightening nuts and bolts. If over tightened, the bolts may become damaged.
- Keep the removed factory parts in a safe place for ease of re-installation at a later date (if necessary).  
When reinstalling the removed factory parts, make sure to reinstall them correctly.

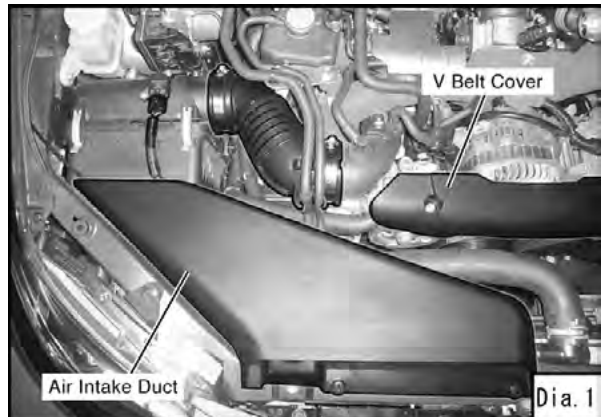
### NOTE

- Check the boost pressure level after installing this kit.
- Resetting the computer is necessary if the boost pressure level is increased.

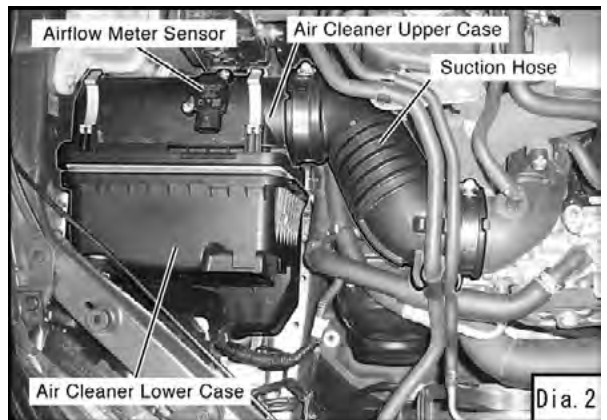
## INSTALLATION PROCEDURE

### 1. REMOVAL OF FACTORY PARTS

- (1) Disconnect the negative terminal of the vehicle's battery.
- (2) Remove the air intake duct. (Dia.1)
- (3) Remove the V belt cover. (Dia.1)

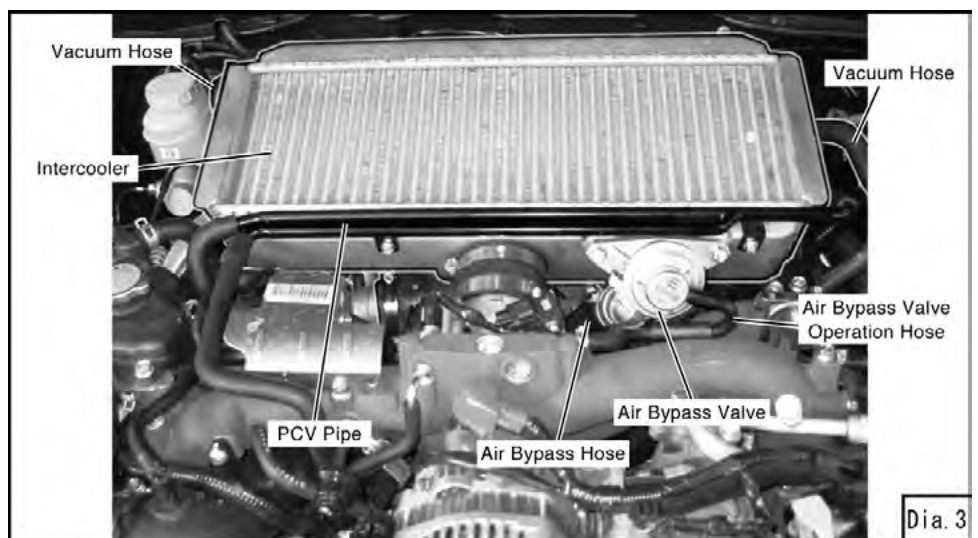


- (4) Loosen the hose clamps and remove the suction hose. (Dia.2)
- (5) Disconnect the airflow meter connector and remove the upper air cleaner case with the airflow meter sensor. (Dia.2)
- (6) Remove the air filter element. (Dia.2)
- (7) Remove the bolt and nut; then, remove the lower air cleaner case. (Dia.2)

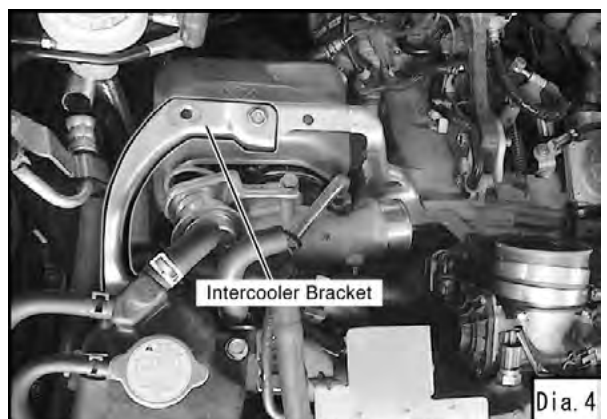


Use this instruction manual and the factory service manual as a reference when removing the factory air intake pipe.

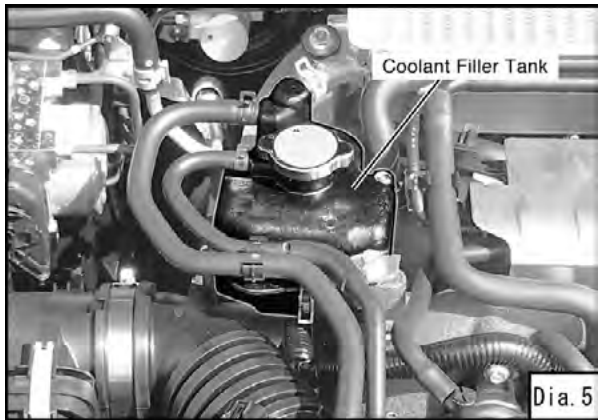
The following is the removal procedure for the factory air intake pipe to use as a reference. The procedure is a simplified version of the factory service manual. Make sure no foreign objects get inside the engine which can cause engine damage. Use caution when removing the factory air intake pipe.



- (8) Remove the hoses from the PCV pipe. (Dia.3)
- (9) Remove the vacuum hoses from the vacuum pipe under the intercooler. (Dia.3)
- (10) Remove the air bypass valve operation hose and the air bypass hose. (Dia.3)
- (11) Loosen the hose clamps and bolts, and remove the intercooler. (Dia.3)
- (12) Remove the intercooler bracket. (Dia.4)



- (13) Drain the coolant from the coolant filler tank, and remove the coolant filler tank. Make sure the coolant is completely cooled down before draining. (Dia.5)  
Cover the coolant pipe to prevent foreign objects from entering the engine. Keep the drained coolant for later use.



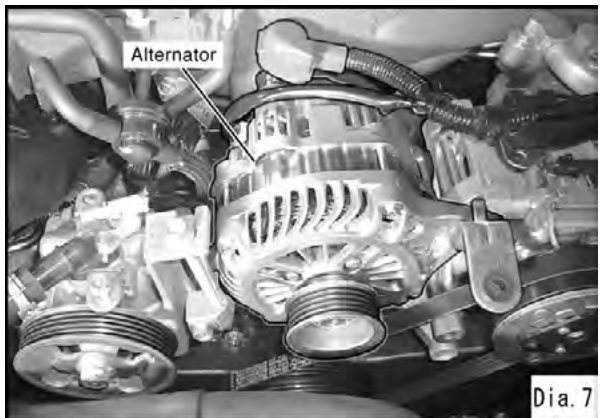
- (14) Remove the "power-steering and alternator belt". (Dia.6)



- (15) Disconnect the connectors from the alternator. (Dia.7)

- (16) Remove the bolts and remove the alternator. (Dia.7)

- (17) Disconnect the connector from the power-steering pump. (Dia.4)



- (18) Remove 3 bolts from the bracket, and remove the power steering pump and bracket together. (Dia.8)

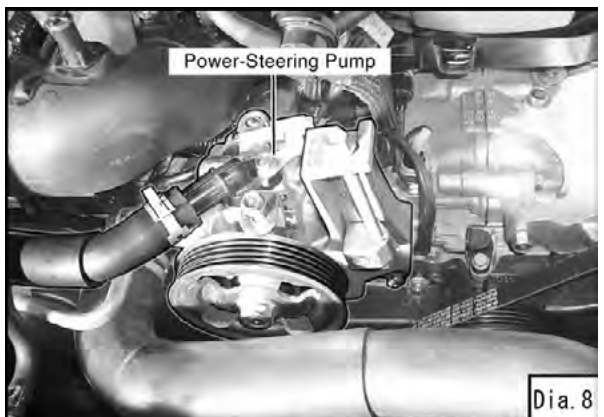
It is not necessary to remove the power steering pump piping, but temporarily relocate the piping within the area where there is no excessive stress on the piping. (Dia.9)

**ADVICE:**

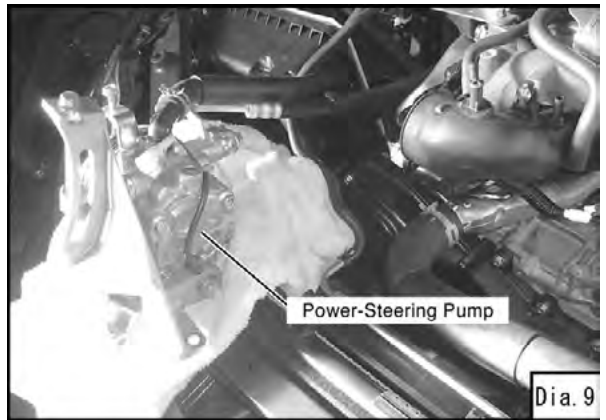
The lengths of the 3 bracket bolts are different. These bolts will be reused when reinstalling the power steering pump. Mark the bolts to make sure they are used in the proper locations during reinstallation.

If the bolts cannot be easily removed, complete step (13) before removing the bolts.

Cover the power steering pump with a cloth to prevent damage to the pump when temporarily relocated.

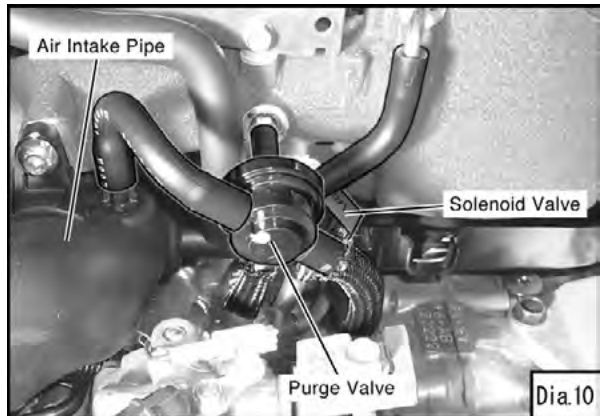




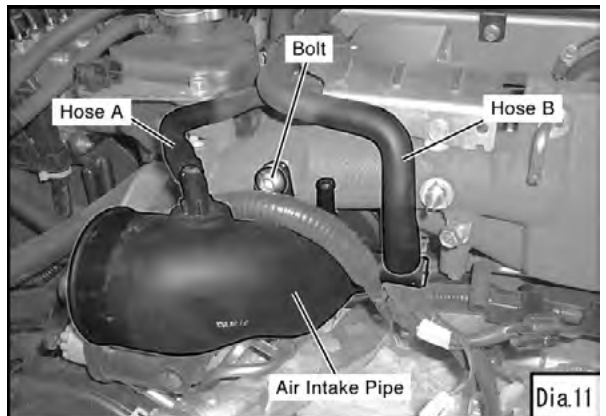


- (13) Remove the connector and hoses, and remove the purge valve and solenoid valve. (Dia.10)  
 (Mark the hose ends for correct reinstallation.)

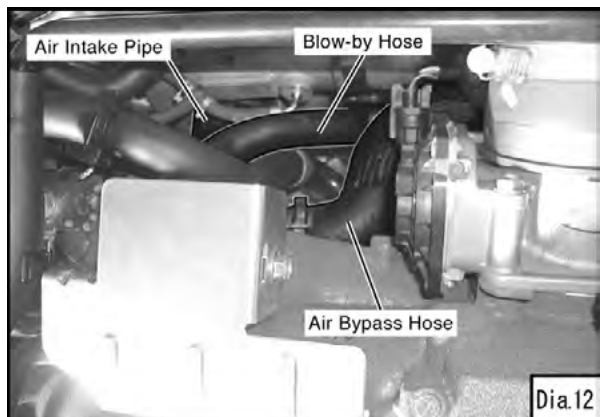
**Make sure not to disconnect the water and/or fuel pipes when removing hoses.**



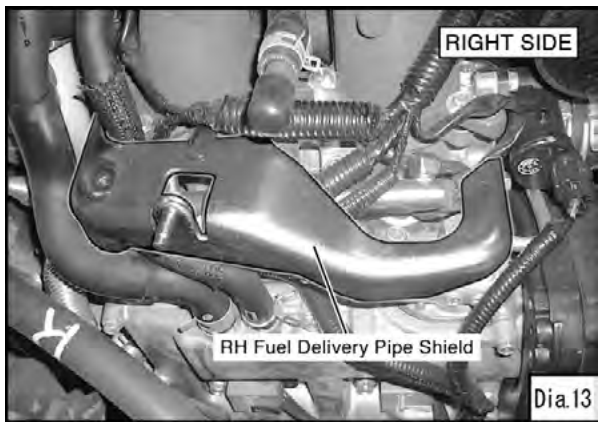
- (14) Remove hoses A and B from the air intake pipe. (Dia.11, 12)
- (15) Loosen the bolt. (Dia.11)
- (16) Loosen the hose clamp securing the turbo inlet side of the air intake pipe.



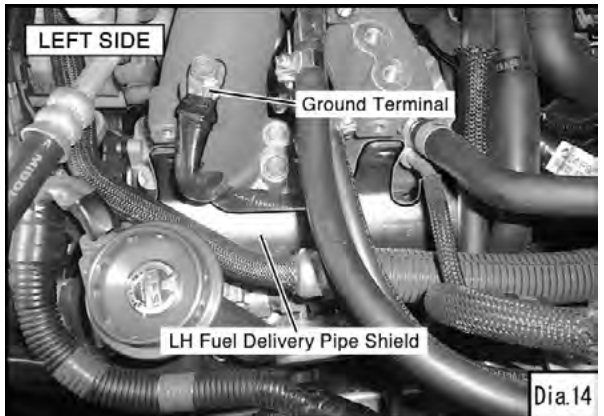
- (18) Remove the air bypass hose and remove the air intake pipe while slightly holding up the intake manifold. (Dia.12)
- (19) Disconnect the blow-by hose from the engine side. (Dia.12)



- (24) Remove 2 bolts on the rear side of the RH fuel delivery pipe shield.  
Loosen the bolt on the front side of the RH fuel delivery pipe shield.  
Move the RH fuel delivery pipe shield away from the engine. (Dia.13)

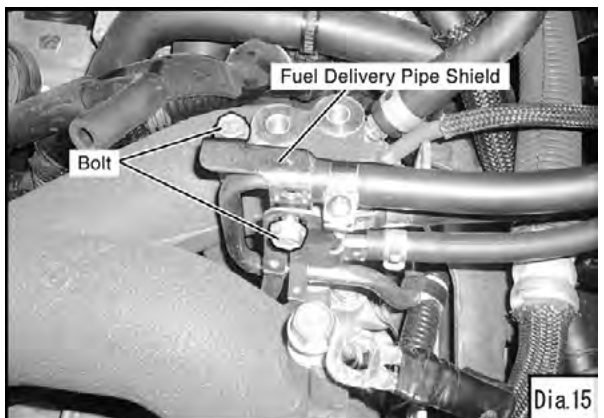


- (25) Remove all 3 bolts on the LH fuel delivery pipe shield.  
(Dia.14)  
Do not remove the LH fuel delivery pipe shield. Leave the shield loose.

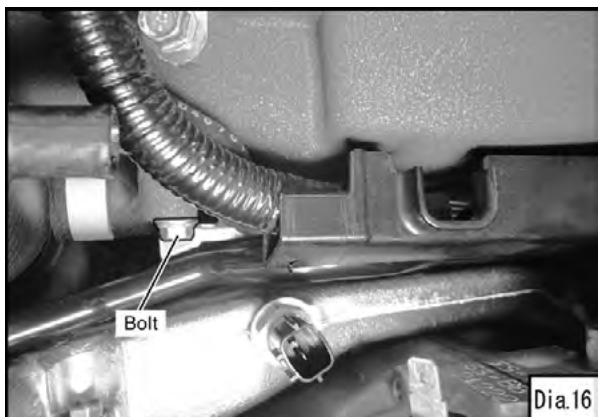


- (26) Remove the ground terminal. (Dia.14)

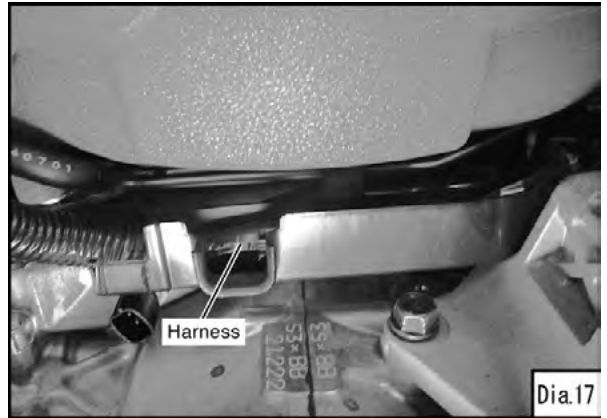
- (27) Remove 2 bolts securing the intake manifold and fuel delivery pipe. (Dia.15)



- (28) Remove 2 fuel delivery pipe bolts from both sides of the lower part of the intake manifolds. (Dia.16)



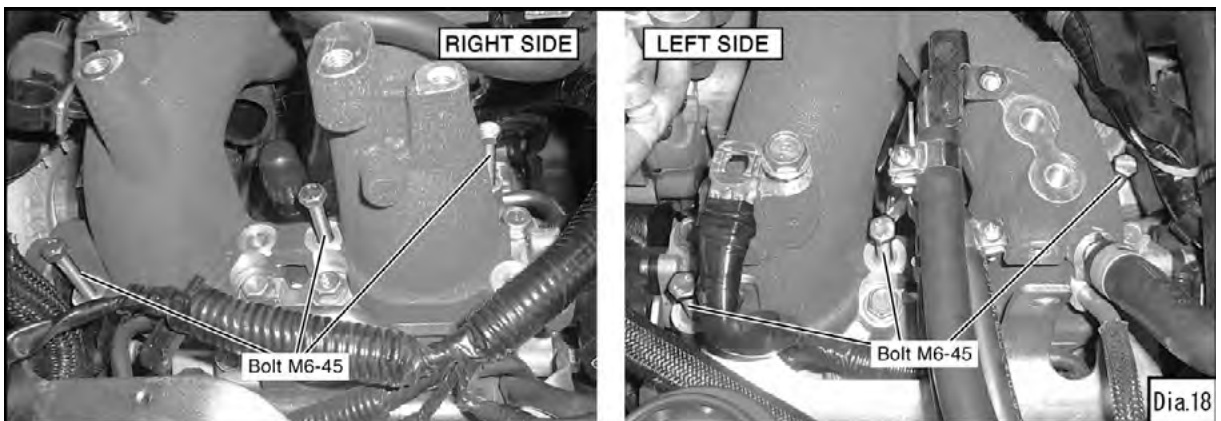
(29) Remove the harness bolt from the lower part of the intake manifold. (Dia.17)



(30) Remove 12 intake manifold bolts. Make sure not to move the intake manifold when removing these bolts. Temporarily install the provided M6-45 bolts to the positions that the factory M6 bolts were removed. Install 3 bolts on the left bank and 3 bolts on the right bank. (Dia.18)

**ADVICE:**

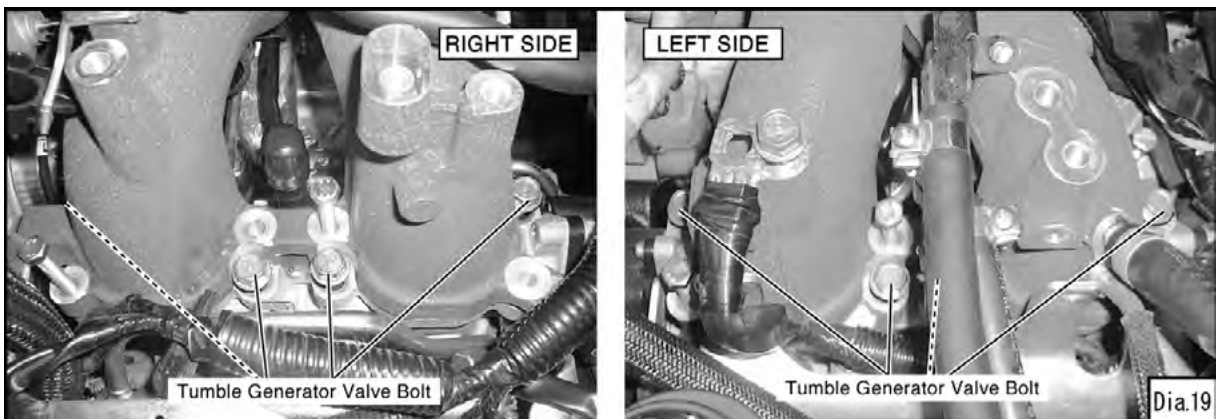
These bolts are installed to restrict unnecessary movement of the gasket which may cause damage to the engine and/or allow foreign objects to enter the engine. Do not damage the gasket when installing the bolts. After installing the Suction Pipe, remove the temporarily installed bolts and reuse the factory bolts to secure the intake manifold.



(31) Loosen but do not remove 8 tumble generator valve bolts from both sides to restrict unnecessary movement of the gasket. (Dia.19)

**ADVICE:**

Make sure no foreign objects enter the engine and do not damage the gasket when loosening the bolts.



(32) Make sure there are no parts attached to the air intake pipe; then, lift the intake manifold and tumble generator valve to remove the air intake pipe. (Dia.20)

**ADVICE:**

It is recommended to lift the intake manifold and tumble generator valve using 2 people to prevent foreign objects from entering the engine and not causing damage to the gasket.

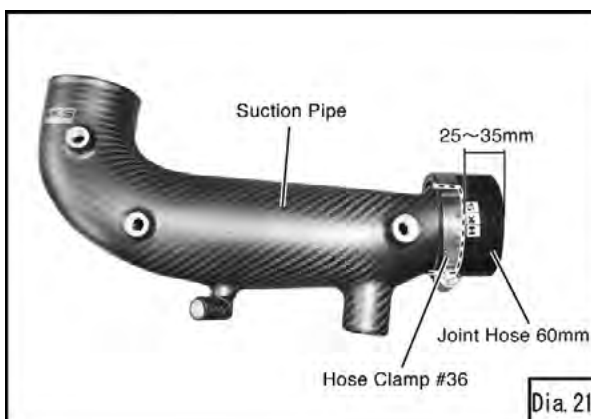


**ADVICE:**

If HKS Actuator Upgrade (P/N 14030-AF001) is installed, remove it.

## 2. INSTALLING THE KIT

- (1) Install the Joint Hose 60mm to the suction pipe No.2 using the provided Hose Clamp #36. (Dia.21)
- (2) Attach the sponge tape to portions of the fuel pipes or intake manifold where the suction pipe No.2 may come in contact.
- (3) Temporarily install Suction Pipe.



- (4) Install the supplied 12mm hose fitting and 8mm hose fittings.  
Wrap the threaded section with Teflon tape to prevent air leakage. (Dia.22, 25)

**ADVICE:**

After tightening the hose fitting by hand, tighten it another one to two turns with an appropriate tool. (It is not necessary to tighten the fitting to the point where the nuts touches the pipe.)

**ADVICE:**

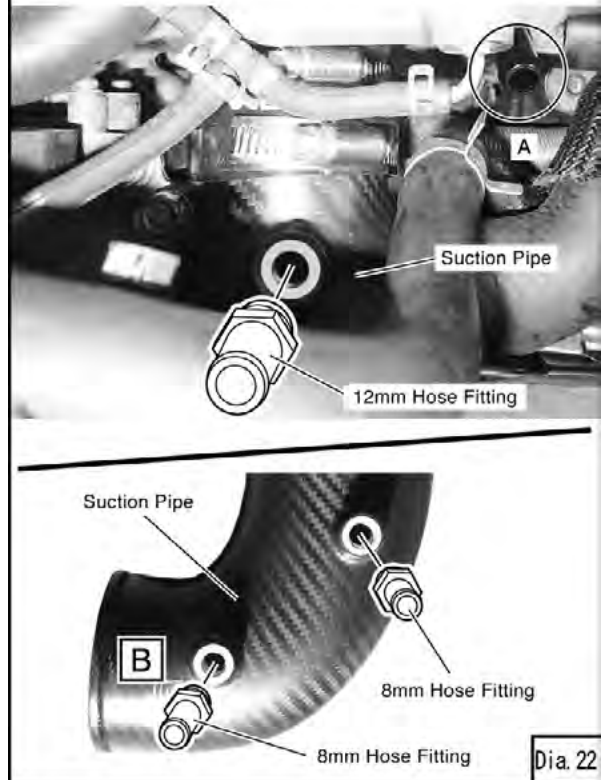
If the hose "A" between the factory air intake pipe and boost solenoid valve is removed to use HKS EVC, which is available separately, or a similar device, replace the 8mm hose fitting on "B" with the provided plug. (Dia.22)

Wrap the threaded section with Teflon tape to prevent air leakage.

After tightening the plug by hand, tighten it another one to two turns with an appropriate tool.

When installing the hose fitting or the plug, wrap the threaded section with Teflon tape to prevent air leakage.

After tightening the hose fitting or the plug by hand, tighten it another one to two turns using the appropriate tools.  
(It is not necessary to tighten the fitting to the point where the nut touches the pipe.)



- (5) Make sure the tumble generator valve gasket is installed properly; then reinstall the tumble generator valve to its original position using factory bolts.  
Tightening Torque : 25 (N · m)

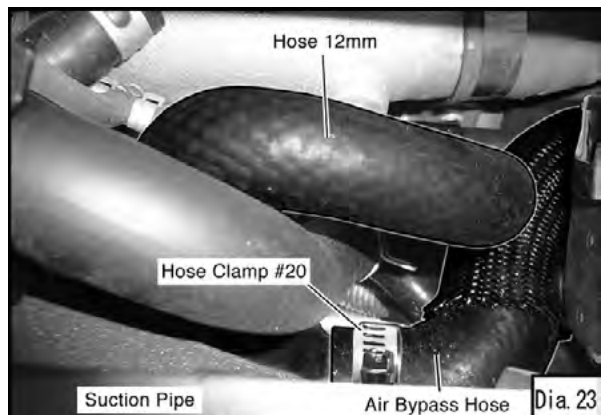
- (6) Remove the Bolts M6-45 installed in 1.(29). Make sure the intake manifold gasket is installed properly; then reinstall the intake manifold to its original position using the factory bolts. Tightening Torque : 8.3 (N · m)

- (7) Reinstall the factory parts using the opposite procedure of 1.(26) to (28).

- (8) Reinstall the factory fuel delivery pipe shield RH and LH to its original position. (Dia.13, 14)

- (9) Connect the 12mm hose fitting to "A" using the hose 12mm.  
(Dia.22, 23, 25)

- (10) Install the air bypass hose. (Dia.23)



(11) Reinstall the coolant filler tank. Refill the tank with the drained coolant. Add new coolant if necessary.

(12) Reinstall the intercooler bracket. (Dia.4)

(13) Reinstall the intercooler to its original position; then, reinstall hoses.

(14) Reinstall the power-steering pump to its original position; then, reconnect the connector.

(15) Position suction pipe to the vehicle avoiding unnecessary contact with other parts of the vehicle.  
Once the position is determined, secure the assembly to the vehicle using the supplied hose clamp and bolt. Attach the sponge tape where the kit parts and/or the heat insulator may come in contact with any other vehicle's parts.

(16) Reinstall the solenoid valve and purge valve; then, reconnect hoses and connectors. (Dia.10, 24)

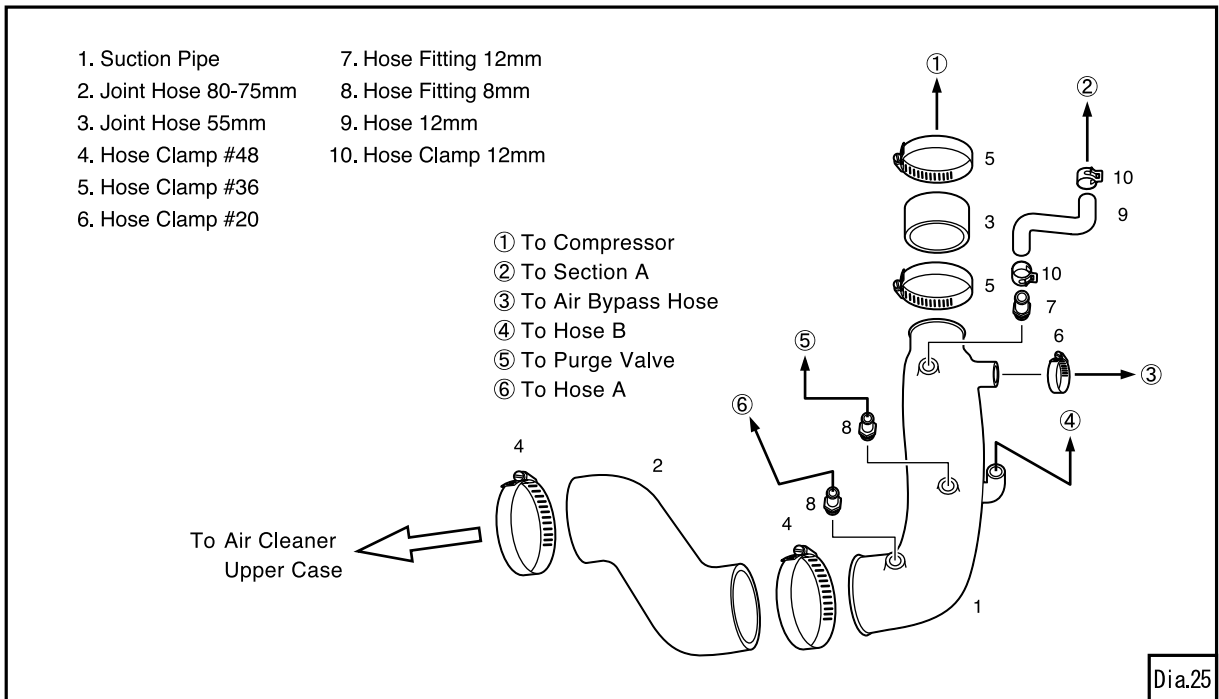
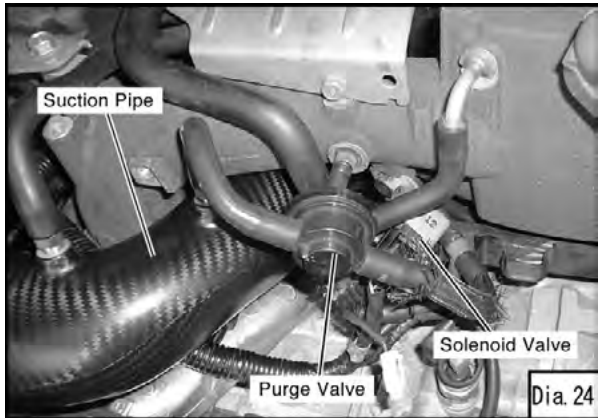
(17) Reinstall the alternator; then, reconnect connectors.

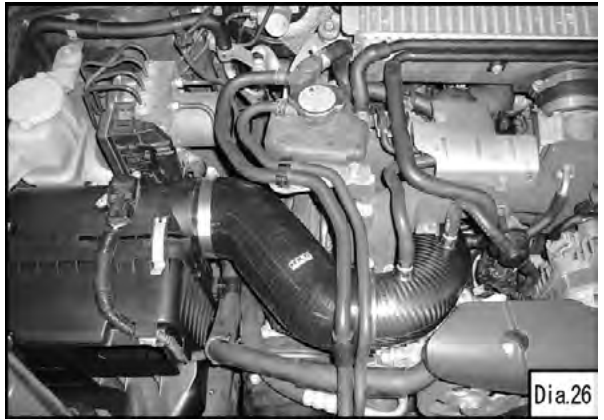
(18) Reinstall the power steering belt and alternator belt.  
Adjust the belt tension to the factory specifications.

(19) Reinstall the V belt cover. (Dia.1)

(20) Install the kit parts. (Dia.25, 26)

Reinstall the lower air cleaner case, air filter element, upper air cleaner case to the vehicle.





(21) Reconnect the airflow meter connector.

(22) Reinstall the air intake duct. (Dia.27)

(23) Reconnect the negative cable to the battery.



### CAUTION

After fitting the kit, replenish any lost coolant and remove air from the system before starting the car for the first time.

## CONFIRMATION AFTER INSTALLATION

Check the following after the installation process is complete.
















(1) Check the following before starting the engine:

- Make sure all pipes and hoses are routed and connected correctly.
- Make sure all hose clamps are tightened.
- Make sure the negative cable terminal is securely attached to the battery.
- Make sure all bolts and nuts are tightened.
- Make sure all installed components do not come in contact with other parts.

(2) Start the engine and check the following:

- Make sure air is not leaking.
- Make sure the RPM rises smoothly after revving the engine 2-3 times while in neutral.
- Make sure the installed parts are not hitting each other.
- Make sure there are no unusual conditions found while idling.
- Make sure there are no loose bolts after turning off the engine. Re-tighten if necessary.

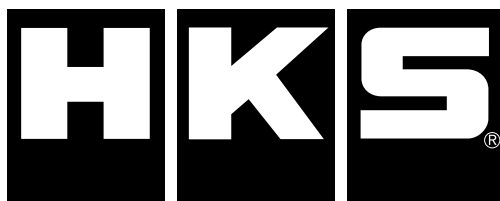
## PARTS LIST

No.	Description	QT	Image	Remarks	No.	Description	QT	Image	Remarks	No.	Description	QT	Image	Remarks
1	Suction Pipe	1			6	Hose Clamp	1		#20	11	Plug	1		
2	Joint Hose	1		80mm -75mm	7	Hose Fitting	1		12mm	12	Bolt	6		M6-45
3	Joint Hose	1		60mm L=40	8	Hose Fitting	2		8mm	13	Tie Wrap	5		
4	Hose Clamp	2		#48	9	Hose	1		12mm	14	Sponge Tape	5		
5	Hose Clamp	2		#36	10	Hose Fitting	2		12mm	15	Instruction Manual	1		

## MAINTENANCE

Proper maintenance of this product is necessary in order to maintain the safety, reliability, and function of this product.

- Maintenance is the responsibility of the driver/owner.
- If work needs to be performed outside the scope of this manual, consult a professional.
- If the vehicle gets damaged, have the repairs performed by a professional.
- If you experience any abnormal noise, smell, or vibration from the vehicle while driving, reference the vehicle's Owner's Manual.
- If this product is ever re-sold, please give this Instruction Manual to the new owner.
- When removing this product from the vehicle, please consult a professional.



<http://www.hks-power.co.jp/>

株式会社 エッチ・ケー・エス  
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

**HKS Co.,Ltd.**

7181 Kitayama, Fujinomiya, Shizuoka 418-0192, JAPAN

禁無断複写・転載  
Unauthorized reproduction is strictly prohibited.